

教職実践演習（試行）2011 の概要

第 1 回	<p>期 日 平成 2 3 年 1 1 月 4 日（金）1、2 時限</p> <p>テーマ 体験談 「初めて教師になって」</p> <p>受講者 2 0 人（4 年次 1 9 人、大学院生 1 人）</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・教職実践演習実施委員会・井門委員長 あいさつ ・「教職実践演習」の授業等について 2 体験談「初めて教師になって」 <p>外部講師として本学部を卒業して初めて勤務した相場愛さん（学校教育課程＝国語、附属小臨時講師）、伊藤綾華さん（学校教育課程＝障害児教育、大曲養護学校教諭）がスライドをもとに体験談を紹介した。学校における勤務の実際や初任者研修等の紹介のほか、日頃から気を付けていることや気づいた自分の課題等について述べた。</p>
第 2 回	<p>期 日 平成 2 3 年 1 1 月 4 日（金）3、4 時限</p> <p>テーマ 学校における一年の営み</p> <p>受講者 2 0 人（4 年次 1 9 人、大学院生 1 人）</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義 附属小における一年の営み <p>附属小学校の佐川真知子教頭が、学校行事予定表及びスライドをもとに、1 年間の学校行事や学年行事の内容、学級担任が担当する主な仕事の内容等について具体的に紹介した。</p> 2 演習 「6 年 A 組 学級テーマを作ってみよう」 <p>3 グループに分かれ、演習シートをもとに 6 年生の「学級テーマ」を作成して発表した。</p>
第 3 回	<p>期 日 平成 2 3 年 1 1 月 1 1 日（金）1、2 時限</p> <p>テーマ 「困っている子」への対応</p> <p>受講者 2 1 人（4 年次 2 0 人、大学院生 1 人）</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義 「困っている子」への支援のポイント <p>県立栗田養護学校教育専門監の佐藤圭吾教諭が、スライドをもとに発達障害等の子どもの特性のほか、自閉症の子どもの変容の様子を記録したビデオの紹介、疑似体験等を行い、具体的な支援の在り方について述べた。</p> 2 演習 「困っている子」への支援の在り方について <p>「学習面」、「行動面」、「対人関係」で困難を示す児童生徒の 3 つの事例をもとに協議を行い、事例ごとに発表した。</p>

<p>第4回</p>	<p>期 日 平成23年11月11日(金)3、4時限 テーマ 安全な学校であるために 受講者 21人(4年次20人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 安全な学校であるために 県教育庁高校教育課・真壁聡子副主幹が、安全な学校が求められている背景について述べた。また、学校における危機管理のポイントとして事故や危険の予知や予測、事故後の適切な対応の仕方等について具体的な手立てなどを紹介した。 2 協議 「学校で体験した実例とその対応」 4グループに分かれ、学生が体験した学校事故等に関する実例を紹介しあうとともに、対応の仕方や手立てなどについて協議を行い発表した。</p>
<p>第5回</p>	<p>期 日 平成23年11月18日(金)1、2時限 テーマ 担任が扱う文書や通信 受講者 20人(4年次19人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 担任が扱う文書等について 石橋客員教授が、スライドをもとに指導要録や通知表の取り扱い、金銭出納簿の記入の仕方等について述べた。 また、院生・田口瑞穂教諭は、学級通信の記入の仕方について、小学校の実例をもとに具体的に紹介した。 2 演習 4月当初の学級通信の作成 新担任としての思いを児童や保護者に伝える学級通信について、グループごとに協議しながら学級通信を作成して発表した。</p>
<p>第6回</p>	<p>期 日 平成23年11月18日(金)3、4時限 テーマ 保護者との上手な付き合い方 受講者 22人(4年次21人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 保護者との上手な付き合い方 元小学校長・太田徹氏が、保護者とのかわりについて「ゆっくり、じっくり、ていねいに」をキーワードに行うことを紹介するとともに、保護者との信頼づくりやかかわり方のコツなどについて、資料をもとに分かりやすく解説した。 2 演習(ロールプレイング) 3グループに分かれ、保護者への要求への対応、近隣の住民の苦情への対応についてロールプレイングを行い、それぞれのケースについて対応の在り方について協議した。</p>

<p>第7回</p>	<p>期 日 平成23年11月25日(金)1、2時限 テーマ いじめ、不登校への対応 受講者 18人(4年次17人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 「スペース・イオ」における取り組みについて 県立秋田明德館高校・新目敏子教育専門官が、「スペース・イオ」を利用している生徒の状況や実際の取り組み状況等について紹介した。 また、子どもとの信頼関係を踏まえた学級経営が大切であり、教師の力量を高めることが大切である。「深さ・豊かさ・温かさ」(指導力・専門性・人間性)のある教師を目指してほしいと結んだ。 2 演習 「エゴグラム」をもとに自分自身の対人関係の特徴を知るエンカウンターを行った。また、他者との関係を円滑にするアサーショントレーニングの仕方について体験した。</p>
<p>第8回</p>	<p>期 日 平成23年11月25日(金)3、4時限 テーマ 子どもの理解と教育相談 受講者 20人(4年次19人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 子どもの理解と教育相談について 県総合教育センター・鈴木幸子副主幹が、教育センターにおける教育相談の概要について述べた。また、保護者との教育相談で心がけることや人間関係づくり、教育相談の実際などについて具体的に紹介した。 2 演習 4グループに分かれ、演習シートをもとに</p>
<p>第9回 ~11回</p>	<p>期 日 一日(11月28日~12月7日の間) テーマ 学校における一日実習 受講者 27人(4年次26人、大学院生1人) 実施場所 附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校 実施内容 学生は希望する学校の学年や学級に所属して、教科指導や学級経営の参観等を通して、始業時から終業時までの学校生活の一日の流れについて学んだ。 所属した学校及び人数 ・附属小学校 10人 ・附属中学校 12人 ・附属特別支援学校 4人</p>

<p>第12回</p>	<p>期 日 平成23年12月9日(金) 1、2校時 テーマ 一日実習を振り返って 受講者 15人(4年次14人、大学院生1人) 実施内容 協議 一日実習で学んだこと 二つの「参観の視点」で気づいたことや学んだことなどについて、グループ協議を行い発表した。 また、「実習の振り返りの視点」として、「四月の採用までに心掛けたいこと」について発表した。</p>
<p>第13回</p>	<p>期 日 平成23年12月9日(金) 3、4校時 テーマ 学校での人間関係づくり 受講者 17人(4年次16人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 学校での人間関係づくり 県総合教育センター・北林強教育専門監が、期待される教師の人物像を紹介するとともに、教師として望ましい人間関係を構築するための留意点等について分かりやすく解説した。 2 演習 小学校における学級崩壊の事例をもとに、学級担任としての対応や管理職、学年部教員等の対応の在り方などについて協議して発表した。</p>
<p>第14回</p>	<p>期 日 平成23年12月16日(金) 1、2校時 テーマ 素敵な教員になるために 受講者 13人(4年次12人、大学院生1人) 実施内容 講義 素敵な教員になるために 本学北秋田分校・濱田純校長が、自身がこれまでの教員生活の中で体験したことや気づかされたことなどについて具体例を紹介しながら、教員としての在り方について話した。</p>
<p>第15回</p>	<p>期 日 平成23年12月16日(金) 3、4校時 テーマ 教職実践演習を振り返って 受講者 14人(4年次13人、大学院生1人) 実施内容 1 講義 これからの学校教育について 神居特任教授、石橋客員教授、斎藤客員教授が、それぞれ本県における教育の状況と課題等について講義した。 2 協議 これまでの授業について振り返るとともに、自己の課題や4月までに取り組むべきことなどについて協議して発表した。</p>